



さくら市立氏家小学校 学校だより

10月号

氏小だより



大志ちゃん

令和6年10月18日発行

発行者 氏家小学校長

教育目標 よく考える子 なかよくする子 体をきたえる子 **すべての子どもが輝く学校**

家族の「がんばったね」が一番のご褒美 ～成長を喜び合って～

2学期が始まりました。1学期は103日（1年生は101日）授業日がありましたが、保護者のみなさんのおかげで児童は毎日元気に登校できました。1学期末には、それぞれの担任が書いた「あゆみ」を持ち帰り、保護者の方もお覧になったと思います。「あゆみ」は、子どもたちが学習した証です。つい評定の数字に目がいきがちですが、指導に関わった教職員は数字や記号に示せない一人一人の頑張りや伸びをよく知っています。保護者の皆さんが見られないお子さんの姿も教職員は見守ってきました。また、集団生活だからこそ学べることにも心を配ってきました。所見には、ご家庭の皆さんに知ってほしいお子さんのよさが書かれています。全校生の「あゆみ」に目を通すと、校長が初めて知る子どもたちの頑張りや優しさを知ることができました。

子どもたちのがんばりの源は、保護者のみなさんの喜ぶ顔です。子どもたちは、自分の成長を喜んでくれる人がいるからがんばることができます。保護者の皆様のご協力を得て、毎日学校に通って学び続けることは、決してあたりまえのことなどではなく、すごいことだと思います。お子さんをたくさん褒めていただき、あゆみをもとにご家庭で話題を広げ、2学期の児童の更なる意欲につなげていただけると幸いです。



★ 児童が輝いた運動会 ～ご声援ありがとうございました～ ★

スローガン ～ 仲間を信じ 最後まで 燃やせ 氏小魂 ～

10月6日（日）、秋らしい天候の中、令和6年度運動会を実施しました。児童の練習や準備の成果が花開いた運動会でした。赤組白組ともに、団長を中心に全力でがんばりました。一生懸命に取り組むことの大切さや友達同士が協力し合って成し遂げることのすばらしさを体験してくれたのではないかと思います。特に、5・6年生は競技だけでなく、係の仕事で運動会の成功を支えました。児童には、運動会を通して育った力を今後の生活に生かして欲しいと思います。ご来賓の皆様、保護者の皆様には、温かいご声援をいただき、本当にありがとうございました。

係打合せ・全体練習 ～競技も係活動もがんばる児童たち～



運動会準備 ～自覚ある動きぶり～



運動会本番は裏面につづく



運動会



★ミシンボランティア★

6年生のトートバッグ製作にミシンボランティアのみなさんが来てくださいました。16回もお手伝いくださったおかげで、児童はミシンの操作も上手になり、すてきなバッグを完成させることができました。また、ミシンの修理や下糸巻きも補助していただきました。本当にお世話になりました。



★3年生の書写指導★

3年生の書道の時間は、書写指導の永井先生にお世話になっています。初めて習う毛筆の「いろは」を一から教えていただき、3年生も毎回上達しています。廊下の書道作品をぜひご覧ください。これからも、練習に励んで、美しい筆文字を目指します。



★第1学期終業式 10月11日★

5月の全校集会以来、終業式は全校児童が体育館に集合して行われました。校長からは、あゆみの内容から児童のよさを伝えました。また、人権を大切に認め合って生活することへの期待を話しました。その後、各学年の代表児童6名が1学期を振り返って作文を発表しました。自分の目標に向かってしっかり学習したことが伝わり、すばらしい発表でした。児童指導主任からは、休みの過ごし方について話しました。最後に全校児童で校歌を斉唱しました。一人一人が堂々と歌い、704名の児童の元気とやる気が伝わるすばらしい歌声に感動しました。



★第2学期始業式 10月17日★

2学期がスタートしました。リモートでの始業式に全校児童が真剣な態度で参加し、各教室からリモート撮影をしている大会議室まで、元気なあいさつが響いてきました。校長から、2学期にがんばってほしいこととして、1学期の学習にプラスαの目標をたてることと、想像力を働かせて学習や生活をしていくことを話しました。早速教室では2学期の目標をたてる子どもたちの様子が見られました。2学期の活躍も楽しみます。



学校の一大イベントである運動会が無事に終了しました。
運動会の紅白組分けが始まったある日、五年生の児童に「校長先生、氏小は、赤組しか勝てないのですか。」と、唐突に質問されました。今年度に赴任した私には、??でしたが、「どうして。」と聞くと、「だって去年もその前も、赤組が勝ったから。」とのこと。優勝旗のペナントを確認すると、なるほど五年生が入学してからは一度も白組は勝っていないかったです。そうだったのか・・・。
今年は、というところ、何と白組の優勝で幕を閉じました。五年ぶりに悲願の白組優勝となりました。しかし、終えてみると勝敗なんて何てことではなく、児童は感想に、がんばれてよかったと綴っていました。勝敗は、一瞬の喜びにはなりますが、一生心に残るのは、その楽しさや仲間の笑顔でしょう。過程にこそ学びがあったと思います。



校長室の窓から

勝ち負けは 一時の運 それよりも
ひたむきな目の ただ美しき

児童の日々の活動をぜひご覧ください。下のQRコードから氏小のホームページにアクセスできます。

